作成：2003年12月10日
改訂：2006年07月18日
整理番号　A2915K

製品安全データシート

１．製品及び会社情報

製品名	Realtime PCR Master Mix
会社名	東洋紡績株式会社
住所	大阪市北区堂島浜二丁目２番８号
担当部門	ライフサイエンス事業部
電話番号	06-6348-3786
FAX番号	06-6348-3833
製品コード	QPK-101, QPK-101T, QPK-201, QPK-201T

２．組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物	
化学特性	酵素、基質等の水溶液	
パーツ名	主要成分	CAS No. (EC No.)
Realtime PCR Master Mix	酵素	(EC 2.7.7.7)
	タンパク質(牛血清アルブミン, マウスモノクローナル抗体)	—
	グリセロール	56-81-5
	トリス（ヒドロキシメチル）アミノメタン	77-86-1
	塩化カリウム	7447-40-7
	塩化マグネシウム	7791-18-6
	デオキシアデノシン三リン酸	1927-31-7
	デオキシシチジン三リン酸	102783-51-7
	デオキシグアノシン三リン酸	93919-41-6
	デオキシチミジン三リン酸	18423-43-3

危険有害成分	
化学名又は一般名	グリセロール
別名	グリセリン
含まれるパーツと含有量	Realtime PCR Master Mix　2%
化学特性	$CH_2OHCHOHCH_2OH$
CAS番号	56-81-5
官報公示整理番号 化審法：	2-242
安衛法：	公表
化学物質管理促進法 指定化学物質(政令番号)	該当しない
労働安全衛生法 通知対象物（政令番号）	該当しない
毒物劇物取締法 毒物･劇物（政令番号）	該当しない

TOYOBO

製品安全データシート

3．危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響

有害性	有害性の調査が十分ではないので、取扱いには注意する。
物理的及び化学的危険性	常温では特に危険性はないが、160℃の引火点を持つグリセロールを含む。
特定の危険有害性	特になし
分類の名称(分類基準は日本方式	分類基準に該当しない。

4．応急措置

吸入した場合	直ちに新鮮な空気のある場所に移し、気分が悪くなった場合は医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	多量の水で十分洗い流す。
目に入った場合	直ちに流水で15分以上洗い流す。
飲み込んだ場合	可能であれば吐き出させ、直ちに医師の手当てを受ける。

5．火災時の措置

消火剤	水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤
消火を行う者の保護	消火は風上から行う。 大規模な火災の場合は呼吸用保護具を着用する。

6．漏出時の措置

人体に対する注意事項	目、皮膚への接触、吸入を避ける。回収の際は適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	可能な限り回収する。回収後多量の水を用いて洗い流す。
除去方法	可能な限り、減圧で吸引したり、ウェスなどに吸収させて密閉式の空容器に回収し、その後、大量の水で洗い流す。

7．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	人体への接触に対して十分に配慮する。接触防止のため、保護眼鏡、保護手袋等の保護具を着用する。接触しないよう注意して使用し、接触した際はできる限り除去する。取扱い後は手、顔などをよく洗い、うがいをする。
注意事項	局所排気内で取り扱う。
安全取扱い注意事項	取扱い場所を常に整理整頓し、清潔に保つ。

保管

適切な保管条件	-20℃で保管する。数日間であれば、4℃で保管する。
安全な容器包装材料	本製品に使用されている容器内で保管する。

8．暴露防止及び保護措置

設備対策	換気設備を設置する。
許容濃度	グリセロール(ミスト)
日本産業衛生学会勧告値	設定されていない
ACGIH　TLV	10mg/m^3
OSHA PEL	total dust:15mg/m^3TWA respirable fr.: 5mg/m^3TWA

保護具

呼吸器の保護具	必要に応じてマスクを着用する。
手の保護具	ゴム手袋を着用する。
目の保護具	保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて実験用の被服等を着用する。

TOYOBO

製品安全データシート

９．物理的及び化学的性質

物理的状態、形状	常温で液体、-20℃では固体
色、臭い	僅かに赤い、ほとんど無臭
pH	6.0～9.0
引火点	水溶液のため引火性はないと考えられるが、水分蒸発後160℃の引火点を持つグリセロールが残留する。
爆発特性	常温では爆発性はない。
密度	1.0～1.2g/cm^3
溶解性	水に可溶

１０．安定性及び反応性

安定性	-20℃で安定
反応性	特に常温で危険な反応性はない。
避けるべき条件	火災などによる強熱、強酸化剤、還元剤
危険有害な分解生成物	グリセロール酸化分解物など

１１．有害性情報

急性毒性	知見なし
局所効果	知見なし
各成分の有害性情報	グリセロール
急性毒性(LD_{50})	マウス経口：4090mg/kg、　ラット経口：12.6g/kg

１２．環境影響情報

移動性	水溶性あり、水系に拡散する。
残留性／分解性	グリセロールは生分解性良好な物質である。 タンパク質や酵素は良分解性と考えられる。

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物	おがくずなどに吸収させて焼却炉で少しずつ焼却するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託する。本製品の低濃度廃水は活性汚泥処理を行うことができる。
汚染容器・包装	大量の水で洗浄後、容器の種類に応じて処分する。

１４．輸送上の注意

国連分類・番号	国連勧告の定義上の危険物には該当しない。
国内規制(国際規制)	輸送に関する法規制には該当しない。
輸送の特定の安全対策及び条件	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

１５．適用法令

消防法	グリセロールは危険物第4類引火性液体第3石油類水溶性液

１６．その他の情報

参考文献	「労働安全衛生法対象物質全データ」化学工業日報社（200 「化学物質管理促進法対象物質全データ」化学工業日報社
制約事項	記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。 また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別の取扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。